

令和5年度「大学・地域共創プラットフォーム香川」 第2回地域活性化部会 議事概要

日 時：令和5年12月19日（火）10:00～11:30

場 所：香川県庁北館3階305会議室

出席者：別紙（部会資料「01.出席者名簿（R5第2回地域活性化部会）」）のとおり。

※委員のうち香川県中小企業家同友会は代理出席、代理出席のうち坂出市は欠席。

開会挨拶

（佐々木部会長）

来年の2～3月に運営委員会及び総会があり、今年度の事業の途中報告をしつつ、来年度事業を決めていかなければならない時期になっている。アンケート調査や案を示しながら、皆様のご意見をいただいて、必要な事項を決めていきたいと思っている。

議題1 取組状況報告

（1）学生による観光資源の情報発信等

※資料（P1～2）及び補足資料に基づき、幹事（県・島倉及び田中観光振興課長補佐）から報告。

（2）アンケート調査の詳細分析等と対策検討

※資料（P3～4）及び補足資料に基づき、幹事（県・島倉）から報告。

（香川大学・原委員）

非常に詳細なアンケートで、分析もよく出来ており、附属の資料もついている。企業側のアンケート結果と合わせれば、いい話し合いができ、意味がある。

（3）関係案内所等の先進事例勉強会の開催等

※資料（P5）に基づき、幹事（県・島倉）から報告。

（宇多津町・岩瀬委員代理）

講師の話にあった創業塾について、すぐに持ち帰り制度内容について担当と協議をしている。その他、地域の団体との関わり方について、提案を引き出す視点を持って取り組んでいきたい。

（4）産学官関係者の連携強化に向けた交流促進

※資料（P6）に基づき、幹事（県・島倉）から2月2日に開催を予定している旨等の報告。

議題2 事業アンケート結果

（Q1）構成員独自で行っている取組みや他団体と個別連携して行っている取組みで、地域活性化や人材の育成・定着及び活躍の場の形成に資するもの

※資料（P7）及び別紙Q1に基づき、幹事（佐々木部会長）から取組みをグループ分けして報告。

（佐々木部会長）

それぞれの取組みはキーワードがある。部会やPFで何か取り組むことが出来ないかという視点で資料は構成している。それぞれの取組みは非常に有益で、面白いものもあったりするため、部会での取組みとならずとも、補助金の枠組み等を活用しての実践を考えてもらいたい。

（Q2）令和6年度以降に実践的に取り組めないか、取り組んではどうかと考える事項

※資料（P8）及び別紙Q2に基づき、幹事（佐々木部会長）から取組みをグループ分けして報告。

(佐々木部会長)

ボランティアの募集情報の取りまとめの提案に着目しており、内容を教えてほしい。

(丸亀市・安藤委員代理)

毎年度初めに、市が主催する行事で学生の参加が必要なものに関し、年間の予定表を作成して県内の大学に送っている。大学内での取扱い是不明であるが、できる範囲でやりたいと思っている。もし PF でできるのであれば、地域活性化に繋がるのではないかと思います提案した。

(佐々木部会長)

香川と都市圏の大学連携推進事業は、パンフレットをお持ちいただいているが内容はどうか。

(香川大学・神田委員)

香川大学と芝浦工業大学など計 4 大学で実施している。2018 年から行っており、その間の短期プログラムに 750 名程度の学生が参加した。今年は約 100 名が参加し、うち約 7 割は東京からの学生で、自治体や地域の特色ある企業等での就業を通じて地域理解を促すことを主な目的とするプログラムである。

現在は非常に使いやすい施設がある土庄町をメインに実施している。

(Q3) 各事業の来年度の方向性

※資料 (P9) 及び別紙 Q3 に基づき、幹事 (佐々木部会長) からアンケート結果について報告。

各出席者に意見等を求めた。(4 事業とも継続の意見が多数であり、基本的には継続することとなった。)

① 学生による観光資源の情報発信等

(佐々木部会長)

結論から申し上げますと、強化・改善も含め、大半が継続 (20 件) の意見をいただいている。

(宇多津町・岩瀬委員代理)

学生目線の情報発信では、例えばリー形式でおすすめの自治体を紹介していくような形ができればいいと思う。

(琴平町・大森委員代理)

町として観光資源の発掘などには取り組んでいるが、その後に繋がっていない現状がある。

(東かがわ市・有本委員代理)

情報発信の担当者に説明する際、メリットも含めた提案が出来ればより話が進むと思う。

(県・田中観光振興課長補佐)

県と市町の共同投稿の様なことが出来れば、相互の閲覧者がフォローでき、市町にメリットを感じてもらえる仕組みになるのではないかと思います。今回の取組みは学生のインターンシップの面も担っている。皆様にもメリットとなるやり方になれば発展していくと思う。

② アンケート調査の詳細分析等と対策検討

(佐々木部会長)

こちらも継続 (強化・改善) の意見が大半の 16 件を占めている。

(徳島文理大学・中筋委員)

外国人留学生に地域の伝統・文化・特色を知ってもらえると定着につながる可能性もある。外国人留学生のニーズに県内大学や企業がどう応え、受け入れることが出来るか。産学官がそれぞれの役割を互いにどう果たしていくのかは、こういった場で協議できると思う。

(さぬき市・多田委員)

外国の方をどうやって取り込むかに着目して情報発信をしてみたらどうかと考えている。

(小豆島町・三好委員代理)

調査項目に外国人向けのものを増やし、そういった意向やデータがあれば取組みに生かせると思う。

③ 関係案内所等の先進事例勉強会の開催等

(佐々木部会長)

こちらも継続（強化・改善）の意見がほとんどであった。

(多度津町・土井委員)

勉強会に参加した職員から、各市町との意見交換の場が少し欲しかったという感想があった。

(観音寺市・岸上委員代理)

勉強会で学習したことを PF の枠組みで何か事業化していけたら意味がある。

(佐々木部会長)

それぞれの地域でモデル的な取組みとして実践していくことも考えてもらいたい。

④ 産学官関係者の連携強化に向けた交流促進

(佐々木部会長)

こちらも継続（強化・改善）がほとんどの意見であった。

(徳島文理大学・中筋委員)

大学側は自治体や経済団体のニーズが分かっておらず、自治体や経済団体も大学の強みが分からないと聞いている。産学官の相互理解につながるような会になればいいと思う。

(高松市・齋藤委員代理)

どのように参加者を集めていくかが重要。PF 自体が大学を基点にしているため、交流会等の実施にあたっては、それぞれ忙しい中ではあるが、大学等が中心的な役割を担ってくれるとよいと思う。

(Q4) その他、ご意見・ご要望等

※資料（P10）及び別紙 Q4 に基づき、幹事（佐々木部会長）から報告。

議題3 R6年度事業計画（案）、スケジュール

※資料（P11）に基づき、幹事（佐々木部会長）から R6 年度事業計画（案）及びスケジュールについて説明。現段階では本案を R6 年度事業計画（案）とし、1 月に WG を開催したうえで具体的に内容等を固めていくこととなった。また、あわせて今後のスケジュールの説明がなされた。

議題4 報告事項（PF 補助金）

※資料（P12）に基づき、幹事（佐々木部会長）から地域活性化部会・申請対象確認分について報告。

議題5 その他

特になし。

以上